

より強く、より深く、地域に根づいた空間を目指して。

II-a街区では、周辺の地形や生態系を活かすだけでなく、地域の自然を各部の素材や植栽などにも活かし、細部のつくり込みを行っています。
目指したのは、地域とのつながりが感じられる、二子玉川ならではのランドスケープです。

1 プランニングは、地域を知ることから始まります。実際に現地周辺を歩き、再現すべき風景のロケーションハンティングを行いました。




2 設計コンセプトの確認と共有のため、モックアップを制作。具体的なイメージをつかむことで、より理解を深めました。




3 工事中に出てきた砂利を保全し、舗装材や土留材など適材適所に活用することで、多摩川らしい風景の創出を目指しました。




4 多摩川の草花の象徴ともいわれるカワラノギクは環境省のレッドデータブックに指定されています。子供たちにこの風景を残すため、種を譲り受け苗を育成しました。




5 さらにビオトープ「めだかの池」は、等々力渓谷に見られる湿性植物群落をはじめ、周辺の水辺環境をもとにプランニング。多摩川河川敷で採取した流木もデザインにとりいれました。

- 飛来想定動物
- カワセミ
- ハクセキレイ
- コサギ
- ダイサギ
- アオサギ
- カルガモ
- メジロ
- コミスジ
- カワトンボ
- ヒメアカタテハ
- ツマグロヒョウモン
- シオカラトンボ
- オニヤンマ
- ハグロトンボ

- 再生木使用のウッドデッキ
- 雨水利用のビオトープ



SPEC

再開発事業の概要(第2期)

- 事業名称/二子玉川東第二地区第一種市街地再開発事業
- 施行者/二子玉川東第二地区市街地再開発組合
- 設計監理/日建設計・アール・アイ・イー・東急設計コンサルタント共同企業体
- ランドスケープ監修/株式会社ランドスケープ・プラス
- デザイン監修/コンラン&パートナーズ
- 施工/鹿島建設株式会社
- 施行地区/東京都世田谷区玉川一丁目
- 施行面積/約3.1ha

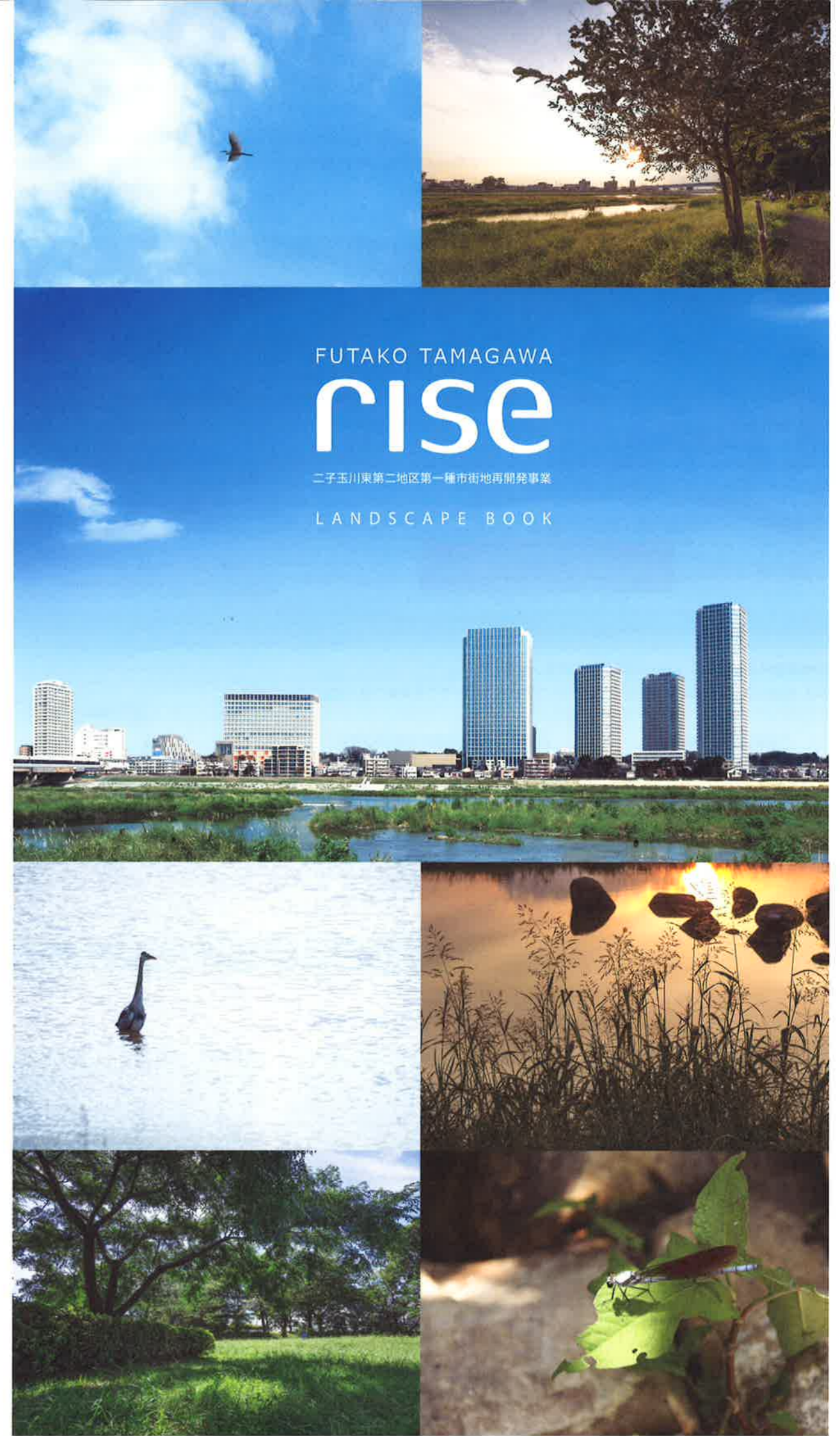
II-a街区概要[平成27年4月竣工予定]

- 敷地面積/28,083㎡
- 全延床面積/約157,000㎡
- 構造・規模/鉄筋コンクリート造・鉄骨造・鉄骨鉄筋コンクリート造、地下2階地上30階塔屋2階建
- 主要用途/店舗・事務所・ホテル・フィットネスクラブ・シネマコンプレックス・集会場・駐車場・駐輪場等
- 高さ/約137m
- 駐車台数/約700台
- 駐輪台数/約1,050台

生物多様性を高める事業を評価する「ハビタット評価認証制度」で最高ランクとなるAAAを取得しました

JHEP
CERTIFIED
AAA

二子玉川東第二地区市街地再開発組合
tel.03-3707-0643



FUTAKO TAMAGAWA
rise
二子玉川東第二地区第一種市街地再開発事業
LANDSCAPE BOOK

地域の生命をつなぎ、自然環境の創出を目指して。

二子玉川ライズの中心に位置するII-a街区では、地域の生態系や歴史・文化を活かし、地域環境の価値を創出する「エコミュージアム」という新たな試みのもと、ランドスケープが計画されています。多摩川はもちろんのこと、武蔵野台地、国分寺崖線、等々力渓谷など、周辺の豊かな自然を取り込み、変化に富んだ地勢を積極的に反映させることで、生態系をつなぎ生物ネットワークの基盤を構築。生物多様性の実現を図るとともに、自然を身近に体感できる、潤いあふれる環境づくりを目指します。

II-a街区は、二子玉川ライズの中核をなすエリア。

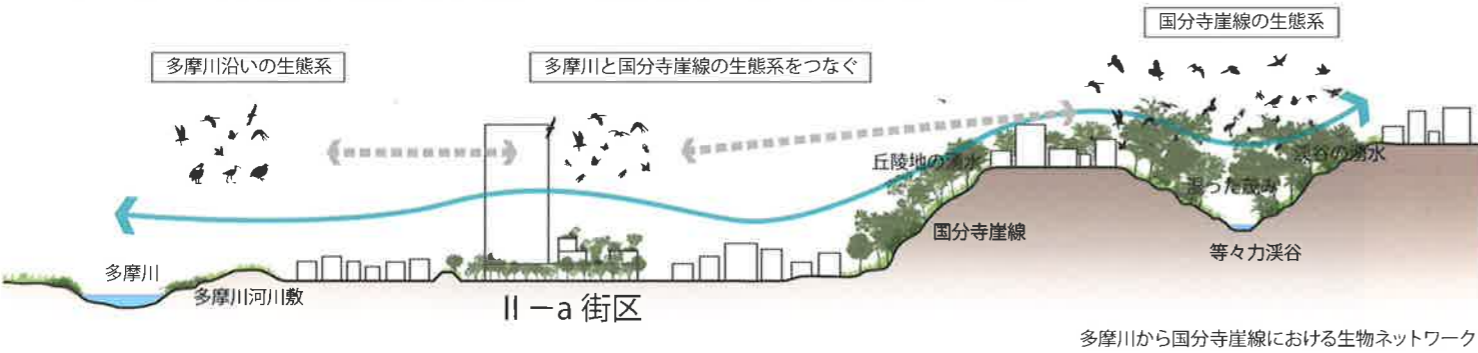
街区全体をリボンストリートが貫くことで、周辺の地形をイメージしたランドスケープのコンセプトが鮮明になります。



多摩川の水辺から、国分寺崖線、等々力渓谷の緑をつなぎ役割を持たせることで生物ネットワークを構築。

多様な生き物が暮らせる環境は、人にとっても暮らしやすい環境です。

II-a街区は、周辺の自然を積極的に取り込むことで、そこに息づくさまざまな生命をつなぎ役割を果たします。



周辺の地勢を活かしたランドスケープにより、地域の自然や生態系を学べる環境を創出。

多摩川や、等々力渓谷、国分寺崖線などの地形や、そこで見られる植生を再生。

II-a街区は、地域の自然環境や貴重な生態系を体感できる、エコミュージアムとして機能します。

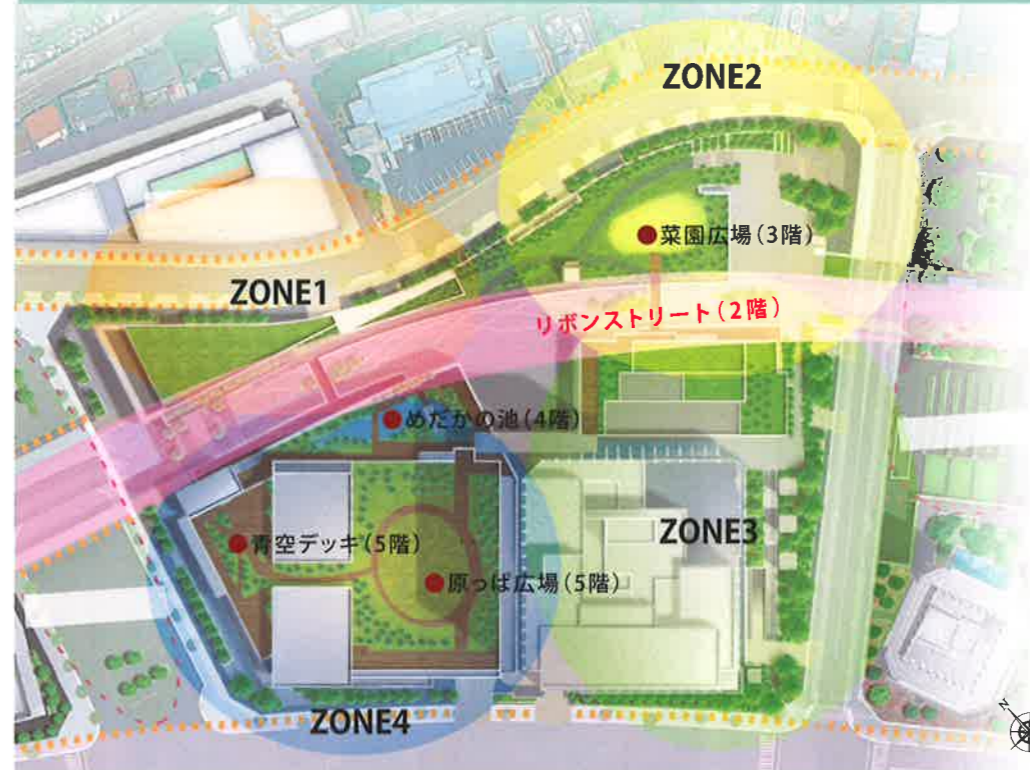
多摩丘陵と武蔵野台地に挟まれた多摩川流域、等々力渓谷の谷地を、II-a街区の路面レベルとして想定。



リボンストリートが多摩川流域や谷地を、周辺に建ち並ぶ建物が丘陵・台地・崖線を表現。



緑と水をつなぎ、今を未来へとつなぐためのゾーニング。



ZONE1

四季折々の変化が楽しめる花畑の丘や、崖線の地層を模した階段広場などで構成されています。

ZONE2

食べられる緑で構成された地域参加型の食育庭園「菜園広場」や、国分寺崖線へとつながるゲートゾーンがあります。

ZONE3

国分寺崖線を一望できるデッキテラスや、崖線とのつながりを体感できる斜面緑地で構成されています。

ZONE4

多摩川流域の生態系を学べるビオトープ「めだかの池」や、多摩川を一望する階段状の「青空デッキ」、多摩川の水と緑と光を堪能できる「原っぱ広場」があります。

